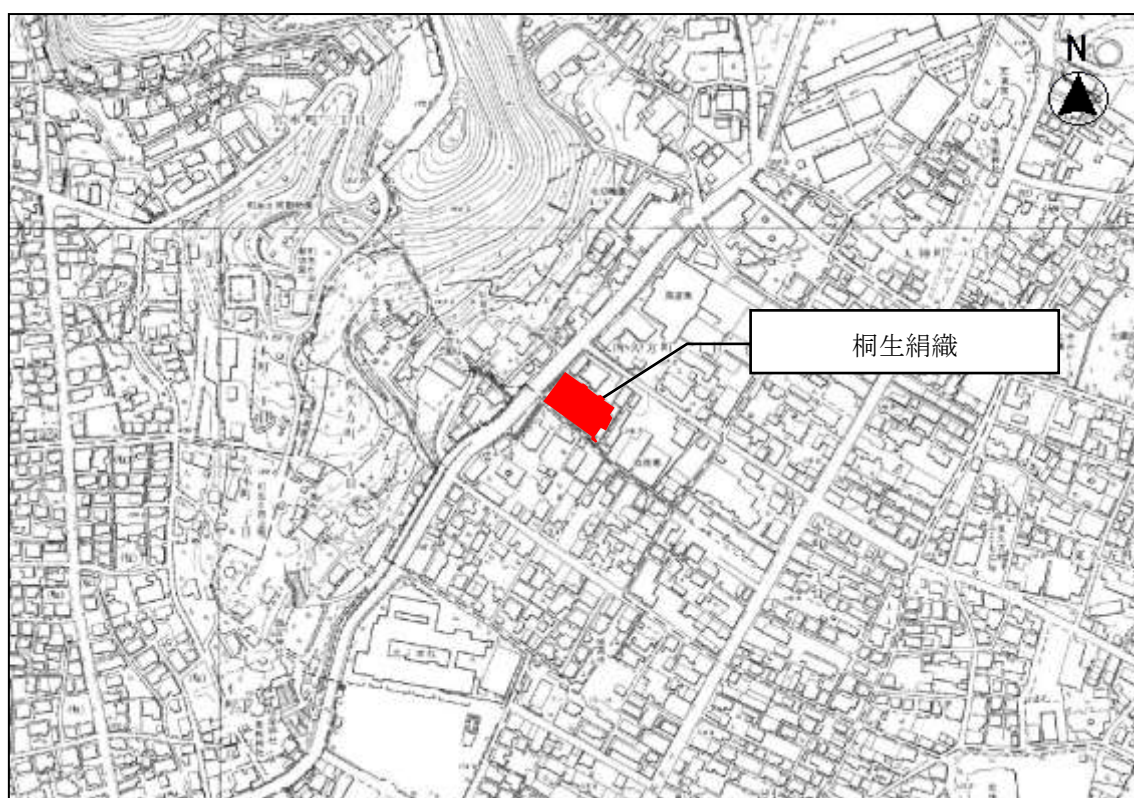
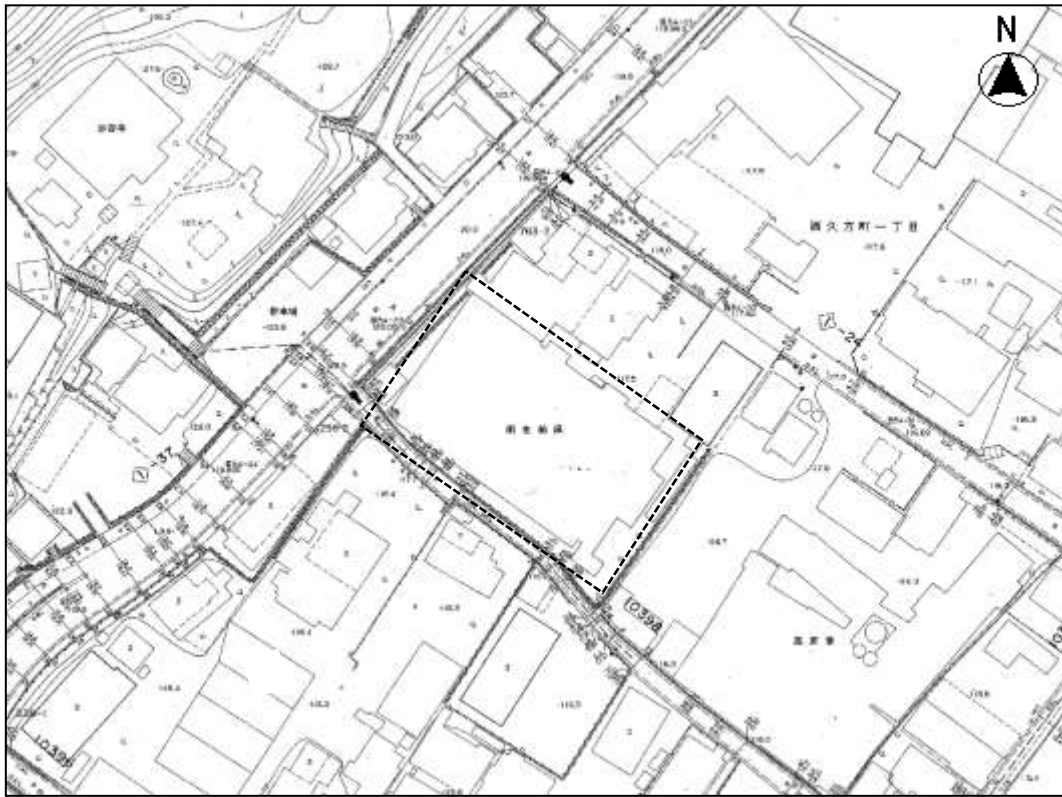


指定番号 8 桐生絹織

所在地	西久方町 1 丁目 3-30
建築年代	昭和初期
建築概要	木造瓦葺、4 連
特徴等	創業した昭和 10 年代に周辺建造物（母屋）とともに 4 連木造瓦葺きノコギリ屋根工場として建造された。鋸部分について、南北 26m、東西 43m の規模は、現在桐生最大で、現役稼働工場である。北東側の窓から採光し、その上に換気用の小窓が並び、雨除けの小屋根が載る。創業時から広幅織物（輸出織物）を手掛け、最大で 60 台のジャカード機が稼働した。今でも婦人服地等を中心に一貫して広幅織物を製織、桐生を代表する織物工場である。
備考	文化財未指定・2018 わがまち風景賞



配置図



歴史的風致形成建造物指定範囲



建物遠景（北より）



屋根（北東側採光）



工場内部



鋸屋根内部より